



特集 2~3面

新年のあいさつ

羽ばたく



光に包まれ、水しぶきがきらきら輝きます。
2014年が大きく羽ばたき、飛躍の年になりますように。

【写真】優雅に泳ぐ白鳥(沢井大池にて)



さくら



すぎ



うぐいす



謹んで年頭の ご挨拶を申し上げます



◆石川町長◆

加納 武夫

町民の皆さまには、平成26年の輝かしい新春をご壮健にてお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、本町では、震災前の安全・安心な日常生活を取り戻すことを最優先とし、第5次総合計画の前倒しによる見直しを行い、放射能対策、風評被害対策、企業立地の促進等、産業、保健・福祉・医療、生活環境を重点改善施策として取り組んでまいりましたが、そのほかの事務事業も含め順調に実施することができました。ここに、町民の皆さまのご理

個性豊かで魅力あるまちづくり

解とご協力に深く感謝を申し上げます。

新年を迎え、石川町の一層の躍進を期して町政運営にあたってまいりたいと決意を新たにしております。

早いもので、東日本大震災から間もなく3年を迎えることになりましたが、原発事故は、県内全域に深刻な被害をもたらし、県外への避難者は現在も5万人近くに上っております。また、汚染水処理対策は未だに見通しも立たない状況にあり、その影響は、環境、健康、産業、教育など生活のあらゆる分野におよび、県内の復興には長期にわたることが予想されます。

大震災によって、これまでの私たちの生活はもとより、経済の根幹を支えるエネルギー政策、環境政策、

防災政策など、我が国のあらゆる政策について再点検、再構築が求められているところです。

このような中、政府は、長期の景気低迷からの脱却を目指し、大胆な金融緩和、機動的な財政政策、民間活力による成長戦略を矢継ぎ早に打ち出し、株価の上昇、円安傾向が進み、市場の活性化が図られつつありますが、地方では、まだまだ実感がないというのが現状であります。

本町を取り巻く環境は厳しいものがありますが、平成26年度は、諸情勢の変化にも適切に対応しながら、引き続き、行財政改革による健全な財政運営に配慮しつつ、小・中学校の統合、役場新庁舎の建設等、第5次総合計画・後期計画の着実な推進に努めていくものとし、私の理念で

ある「町民の視点に立ったオープンな町政」を基本スタンスに、町の将来像である「みんなが主役 協働と循環のまち」、あわせて「安全・安心のまち」実現のため、町民の皆さまと行政がともに知恵を出し合い、柔軟な発想と大胆な行動のもと、町民参加による個性豊かで魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

町政を担当して2期目総まとめの1年となりますが、石川町が今後もお一層飛躍する年になるよう、町民の皆さまの声を大事にしながら、渾身の力を持って町政運営にまいりたいと思いますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年の初めに、皆さまの多幸とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。



◆石川町議会議長◆

大野 峯

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、あの東日本大震災から早いもので2年10か月になるうとしていますが、この間、低迷していた国内



◆石川町◆

田口 和憲

新年おめでとうございます。町民の皆様には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私ごと昨年四月就任以来、無我夢中の日々ではございましたが、多くの皆様方のご支援ご協力を賜り、学校教育、社会教育共に、少しずつで

真の復興の加速に向けて

景気もいわゆるアベノミクスに期待がかけられ、福島県最大の課題である東京電力福島第一原子力発電所事故も、コントロールされていると高らかに宣言されています。国民として、アベノミクスが本物であるならば高齢化社会に資する消費税等の負担も我慢できるでしょうし、県民としてコントロールが本物であるならば、復興に向け力も湧くことと思えます。

しかしながら、地方の現実には、原発事故が雇用環境を厳しくさせると

ともに、若者を流出させ、必然、高齢化比率が高まり、進めぬ支援から自治体を取り組む独自の復興事業にも限度があり、目に見えた効果が現れていないと感じるのは私だけでしょうか。福島県の、そして石川町の復興には、目に見えた国の支援が不可欠であります。それには、何としても目を石川町に向けてもらわなければなりません。

昨年、町民の皆様そして同僚議員のご支援により、福島県町村議会議長会長を務めさせていただきました、政

府等への積極的な要請活動の中で、中央はもとより全国に知己を得ることができました。この経験を活かし、微力ながらも少しでも本町に目を向けさせるよう尽力してまいりたいと、意を強くしたところであります。平成26年の年頭にあたり、議会としても引き続きこの難局に取り組んでまいりますことを誓い、謹んで町民の皆様のご健勝と更なるご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

「学びとスポーツの里」石川を目指す

はありますが前に進むことができずした。心より感謝申し上げます。

まもなく震災から三年を迎えようとしております。原発事故を抱える本県は、復興の足音も鈍牛の感が拭え切れませんが、幸いわが町は、風評被害こそ諸産業に暗い影を落とす

てはありますが、学校教育活動はほとんど日常に戻っております。

今年、統合石川小学校舎全容が明らかになることに象徴されるよう、夢と希望のある教育政策を掲げ、実践していかねばなりません。

まず学校教育の分野では「知・徳・体のバランスの取れた生きる力の育成」を図るために、

- 一、学校で、地域で学び合う姿勢を育ごうこと。
- 二、いじめのない思いやりの精神を培ごうこと。
- 三、小・中連携を推進し、学力、体力、競技力の向上を図ること。

次に教育環境の整備の面では、

- 一、各種学習施設の整備充実を図ること。
- 二、教育愛をもとに、情熱と指導力

のある教師の育成を図ること。そして社会教育の分野では、

- 一、地域スポーツ活動や音楽、芸術活動等の文化・スポーツ活動の発展と充実を図ること。
- 二、地域文化遺産や歴史的財産の保護、充実を図ること。

「学びとスポーツの里」石川を創り上げていくために誠心誠意努力する所存です。皆様方にも更り多い一年となりますことを祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

新春

午年さん登場

今年の干支は“うま”です。そこで町内の午年生まれの小学生5年生に登場していただき、将来の石川町を担う期待の星たちから、輝かしい未来に向け①新年の抱負と②12年後の自分という新春の“夢”を話してもらいました。

初めての年男さん・年女さん登場 未来に向かって新春の抱負



・元木 智哉さん
(石川小学校)

①ぼくの今年の目標は、最高学年として、少しでもみんなの役に立てるようにすることです。
②ぼくは、冒険家としていろいろな所を旅していると思います。その場所のよさを伝えたいです。



・水野 雄清さん
(中谷第一小学校)

①下級生の面倒をしっかりとみることができるようになってお手本になれる6年生になりたいです。
②ぼくは、プロサッカーの選手になっていてリーグで活やくしていると思います。



・小豆畑 奈生さん
(沢田小学校)

①4月からは6年生になるので、下級生のお手本になるような行動をとっていききたいです。
②カリス美容師としてみんなが喜ぶようなかみの毛のセットをしていきたいです。



・深谷 知沙さん
(中谷第二小学校)

①今年6年生になるので、下級生の面倒をしっかりとみれる最上級生になりたいです。
②大学を卒業して、宇宙関係の仕事につき、毎日仕事にはげんでいたいと思います。



・草野 一輝さん
(野木沢小学校)

①4月から6年生になるので、下級生のお手本になれるようにがんばりたいです。
②ぼくは、昆虫や小動物が好きなので、ペットシヨップや生物に接する仕事がしたいです。



・遠藤 佑夏さん
(山形小学校)

①今年、下級生の面倒をよくみて、充実した楽しい年をおくれるようにしたいです。
②私のしょうらいの夢はトリマーなので、ペットのカットなどをして働いていると思います。



・渡邊 紗雪さん
(母畑小学校)

①勉強をがんばったり、下級生の面倒をみたりし、たよりになる6年生になりたいです。
②いろいろなお菓子を作って、みんなを笑顔にするパティシエになりたいと思います。



・鈴木 翔大さん
(南山形小学校)

①6年生になったら、下級生の面倒を見て、お手本になれるようにがんばりたいです。
②中学、高校ともに野球部に入り、12年後も大好きな野球を続けたいと思います。

民生児童委員が変わりました

民生児童委員は地域のみなさんの福祉に関わる相談役として支援を行っています。困ったときには担当地区の民生児童委員までお気軽にご相談ください。相談内容は厳守されます。

石川町民生児童委員名簿

(任期：平成25年12月1日～平成28年11月30日)

地区	新	氏名	電話番号	担当地区	
石川	新	渡邊 雅彦	26-5792	北町 (1~9組)	
	再	三本木美智子	26-5236	北町 (20~30、37組)	
	新	渡邊 郁男	26-0721	北町 (31~33、35、36、38~42組)	
	再	鈴木 芳幸	26-4730	北町 (10~19組)	
	再	鈴木 完治	26-5154	新町	
	再	菊田 恵子	26-4914	三芦、高田	
	新	近内セツ子	26-1802	南町	
	新	諸岡須美子	26-2040	荒町	
	再	大竹喜代子	26-1747	馬場町 (1~10組)	
	新	矢内 政子	26-5043	馬場町 (11~21組)	
	新	丹内 明美	26-4905	古町	
	新	丹内 悦子	26-4473	当町	
	新	有賀 清子	26-3577	猫啼、松木下	
	再	遠藤 勝隆	26-7537	王子平	
	新	遠藤 重勝	26-7473	和久、新屋敷	
	新	大平 直子	26-7394	新田 (2、3、5~7、10組)	
	新	下山田富士子	26-7330	新田 (1、4、8、9、11~14組)	
	沢	再	野崎 善一	26-7815	三里区 (上沢井)
		再	吉田 節子	26-7232	三里区 (大池、竹柄)
新		遠藤 泰幸	26-7736	中央	
再		近藤 重夫	26-7321	下沢井	
新		根本 一夫	26-4907	古内	
田		新	中島スミ子	26-2065	赤羽
	再	野内 武夫	26-7873	新屋敷、鳥内	
山	新	鈴木 弘一	26-6615	山形 (兔田、横山、五斗蒔)	
	新	酒井美智子	26-2489	山形 (須沢、松森、大下)	
	再	遠藤 芳一	26-2665	山形 (福田、松原、若林)	
	新	小豆畑正信	26-6650	板橋 (東組、南組一部)	
	再	遠藤 廣吉	26-3657	板橋 (西組、南組一部)	
橋	新	高木 兼一	26-3459	南山形	
	新	渡辺 忠夫	26-2804	北山形	

地区	新	氏名	電話番号	担当地区
中	再	深谷 裕子	26-2525	本宮、双里七鍬石
	新	藤澤 靖彦	26-4463	双里 (谷津前、桜町、赤沼)
	再	岡部 恒	26-3788	双里 (白坂下、谷津)
	再	武田 繁子	26-1353	双里 (双里、神主、宮ノ前)
	再	飯島 裕	26-0762	形見
	再	小針 定夫	26-0806	谷沢
谷	再	小湊 壽一	26-3815	谷地・坂路
	再	大野 芳治	26-5292	中田 (三森、大塚、矢造)
母	新	塩田 富子	26-5477	中田 (前・後組、内出、高野)
	新	榊枝 利光	26-4454	下母畑
	再	福田 徳一	26-6481	上母畑
畑	再	熊田 誠	26-6594	湯郷渡 (川前通り)
	新	永沼 修一	26-0747	湯郷渡 (坂ノ上)
	新	添田 勤	26-2815	北山 (菅関、高野、羽貫田)
野	再	芳賀 米一	26-6525	北山 (村松、入山、荘柏)
	新	近内 晴美	26-1508	中野 (1、2、8~10、13班)
木	再	円谷 安三	26-4889	中野 (3~7、11、12、14、15班)
	新	鈴木 長治	26-6254	曲木 (5~10班)
	再	吉田 和子	26-6344	曲木 (1~4、11班)
沢	新	関根 正明	26-6291	塩沢 (1~7班)
	再	中田 光泉	26-0309	塩沢 (8~14班)
<主任児童委員>				
全 域	新	蛭田 久江	26-3858	石川全域
	再	西牧夫早子	26-1145	石川全域
	再	佐久間作代子	26-5220	石川全域



★ 新庁舎建設基本設計に関するパブリックコメントの実施について

現在、町では平成27年度の供用開始を目指して庁舎建設事業を進めております。それに伴い新庁舎建設基本設計を作成したので、町民の皆様の意見を募集します。

【募集期間】 平成26年1月6日（月）～2月7日（金）（郵送の場合は必着）

【提出方法・提出先】

所定の意見書に、住所・氏名・電話番号を明記の上、次のいずれかの方法で提出してください。意見書用紙は石川町役場総務課、石川町公民館、各自治センターにあります。また、ホームページからダウンロードすることもできます。なお、様式は、必要事項が明記されていれば任意様式でも可能です。

◎郵送の場合

〒963-7893 石川町字下泉 153-2 石川町役場総務課あて

◎ファックスの場合 26-0360 石川町役場総務課あて

◎Eメールの場合 soumu@town.ishikawa.fukushima.jp

◎直接提出の場合 石川町役場総務課総務係（本庁舎1階、Tel 26-2111 内線 225）

【ご意見の取扱い】

○お寄せいただいたご意見につきましては、新庁舎建設実施設計に当たって参考にさせていただきます。

○いただいた情報については、この意見募集以外の目的に使用したり、第三者に提供することはありません。また、いただきましたご意見につきましては個別に回答はいたしません。とりまとめ、後日ホームページ等で公表します。

【お問い合わせ先】 石川町役場総務課総務係 26-2111

◎新庁舎建設基本設計説明書については、役場総務課でご覧になれます。

以下、新庁舎建設基本設計の概要をお知らせいたします。



★ 新庁舎建設の基本方針 （石川町新庁舎建設基本構想・基本計画より）

1. 機能性・効率性の高い庁舎を目指します。
2. すべての町民に開かれた庁舎を目指します。
3. 防災拠点機能を備えた庁舎を目指します。
4. 町民に親しまれる庁舎を目指します。
5. 地球環境にやさしい庁舎を目指します。



□案内図

★ 計画概要

■敷地概要

計画地 石川町字長久保154番地の3ほか
用途地域 第2種住居地域
敷地面積 6,959.74㎡
周辺道路 東側：国道118号（幅員20m）
指定建ぺい率 60%
指定容積率 200%
防火地域 無し
地区計画 無し
高度地区 無し
日影規制 5時間、3時間

■建築計画概要

建築面積 庁舎：1,077㎡ 車庫棟：272㎡
延床面積 庁舎：3,133㎡ 車庫棟：544㎡
合計：3,677㎡
階数 庁舎：地上3階 車庫棟：地上2階
駐車場 129台（車庫8台を含む）

■構造計画概要

構造 庁舎：鉄筋コンクリート造(免震構造)
車庫棟：鉄骨造

★ 新庁舎建設スケジュール

平成25年度	平成26年度	平成27年度
基本設計・実施設計	確認申請	新庁舎建設工事
		供用開始

★ 設計趣旨・コンセプト

桜の谷の集いの庁舎 —町のみんながいつでも集まる家のような庁舎をつくります—

国道 118 号は、石川街道として、昔からこの町に「ひとやもの」の交流をつくり出してきました。

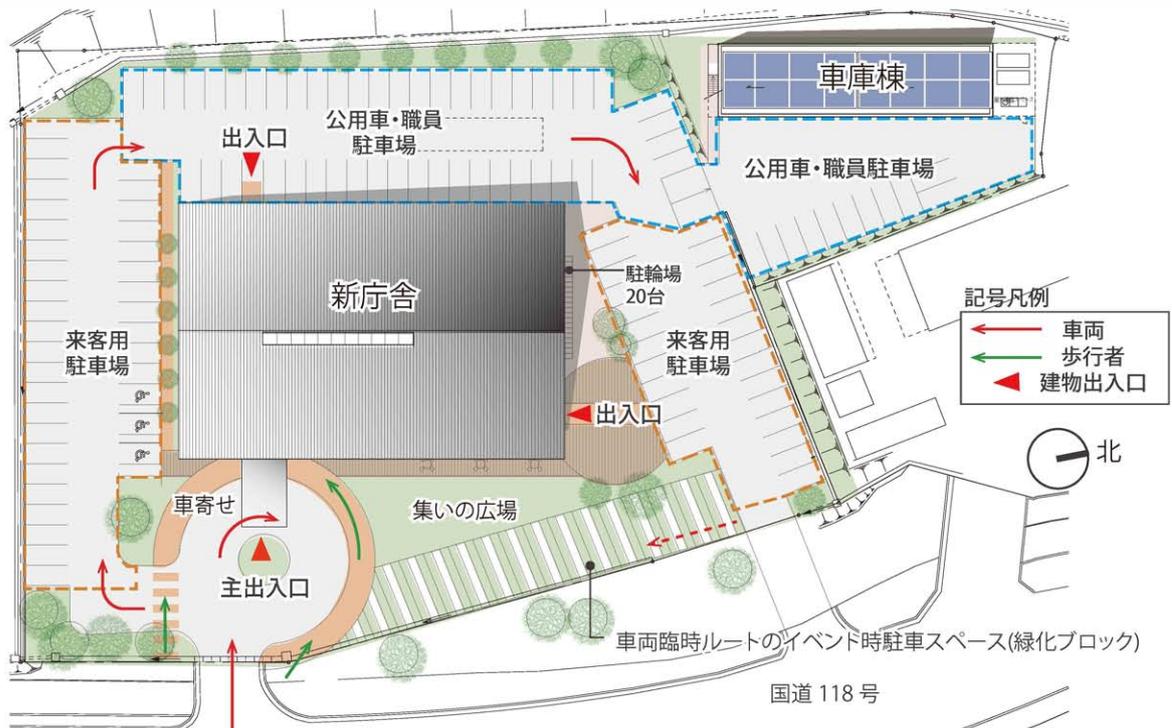
この歴史ある石川街道に面して町民が集える、快適な家のような庁舎を計画します。

街道に面して庭のようなひろばとリビングのような開放的な町民ラウンジを計画して、いつも賑わいがあふれるみんなの居場所をつくります。



□東からの庁舎外観イメージ

★ 配置計画



1. 機能性・効率性の高い庁舎

簡素で分かりやすい組織の構成と各課等の配置を計画します。

- ・ 町民利用が一番多い、窓口部門(町民生活課、保健福祉課、税務課、会計室・指定金融機関、水道事業所)を1階に配置します。
- ・ 2階には、町長、副町長、総務部門(総務課)、事業部門(地域づくり推進課、産業振興課、農業委員会、都市建設課)を集約配置します。
- ・ 3階は、独立性が高い、議会部門と教育課を配置します。
- ・ 1階の窓口は、ワンストップサービスとし、窓口で行われる各種証明書の発行や届出等の手続きを、1カ所のできる対応とします。さらに、カウンターは衝立方式を基本とし、町民のプライバシーに配慮します。
- ・ 各階は、基本的にオープンカウンター方式とし、町民サービスが行いやすい計画とすると共に、カウンターの外側に打ち合わせスペースを設け、町民が執務室に入ることなく用件を済ませることができる計画とします。



□1階町民ロビーより窓口カウンターを見た内観イメージ

2.すべての町民に開かれた庁舎

ア)ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎

- ・車いす、ストレッチャー対応の15人乗りエレベーターを設置します。
- ・多目的トイレを計画し、オストメイト(人工肛門や人工膀胱の方)にも対応します。
- ・授乳室、キッズコーナーを設けます。
- ・視覚障がい者用の点字ブロックを適正に配置します。

イ)町民が主体的に関わり活動できる庁舎

- ・エントランス南側の暖かなエリアに、町民ホールを計画します。町の紹介展示コーナーや町民協働スペース、談話コーナーを計画します。この町民ホールは、土・日・祝日及び夜間にも開放できる計画とします。
- ・集いの広場側にも、打合せコーナーを兼ねたスペースを計画します。

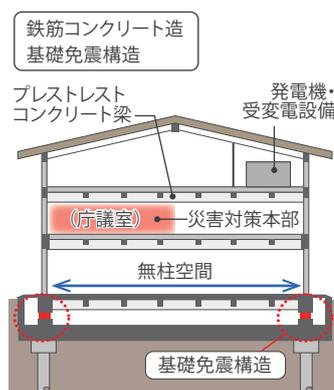


□授乳室イメージ □多目的トイレイメージ □キッズコーナーイメージ

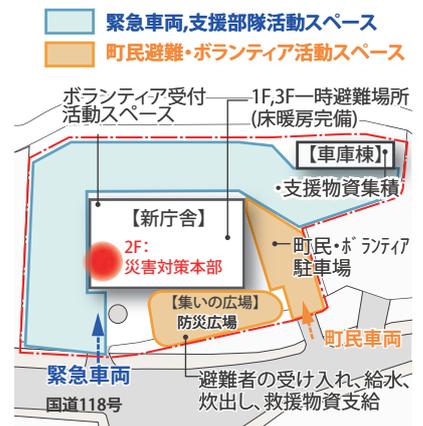
3.防災拠点機能を備えた庁舎

ア) 防災拠点にふさわしい安全な庁舎

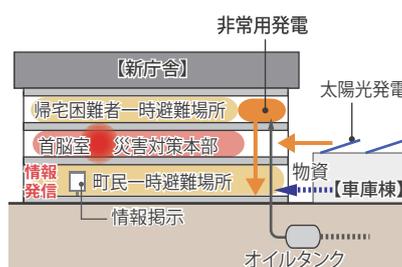
- ・新庁舎は免震構造とします。震度7の地震に対してもその直後から庁舎機能が発揮できる防災拠点にふさわしい計画とします。
- ・免震構造を採用することで、庁舎としての耐震安全性の確保は勿論、災害時の一般利用者及び職員に建物の揺れによる不安感を与えず、天井材等の二次部材の脱落や損傷を防止します。
- ・車庫棟に備蓄庫、資材庫を計画し、日頃から災害に備えます。
- ・災害時の自立インフラ(電力・水・排水・燃料)の確保を図り、防災拠点・一時避難施設としての運営機能を確保します。
- ・非常時に備え自家発電設備を設置し、1週間の連続運転を可能とし、燃料は3日分を備蓄します。災害時に必要となる各設備機器が確実に運転できる計画とします。
- ・受水槽に余裕を持ち、非常時に必要な生活用水などの貯水量を確保します。
- ・空調の熱源水槽の水200tを災害時の雑用水として利用できる計画とします。



□構造計画図



□災害時敷地利用計画



□災害時対応(断面図)

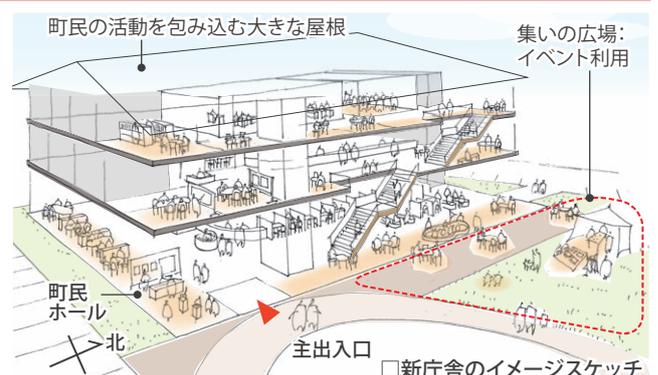


□バックアップシステム

4.町民に親しまれる庁舎

ア) 町民に親しまれる庁舎

- ・大きな屋根のある親しみある庁舎とします。
- ・国道に面して、主出入口を設け、わかりやすい計画とします。庁舎東側の屋外に広場を計画し、イベントなどでの活用が可能な計画とします。外構計画においてもイベント利用を考慮した緑化ブロックの設置など、町民が利用しやすいよう配慮します。
- ・県産木材の活用を検討します。腰壁や家具への活用を考えています。



□新庁舎のイメージスケッチ

5.地球環境にやさしい庁舎

- ・地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素発生量の少ない設備システムの採用や自然エネルギー利用（自然換気・外気冷房・太陽光発電等）を図ることで環境共生型の施設となるように計画します。
- ・太陽光発電システム30kwを車庫棟屋上に設置し、省エネを図るとともに、発電量表示装置を設置し、自然エネルギーへの関心を高めます。
- ・省エネルギー機器（LED照明・高効率蛍光灯（Hf）・人感センサー照明・高効率変圧器・高効率熱源機器・空調機等）を積極的に採用し、二酸化炭素排出量削減やランニングコスト低減を図ります。
- ・空調熱源方式は、経済性に優れ、環境に配慮した水蓄熱方式を採用します。



□太陽光発電イメージ

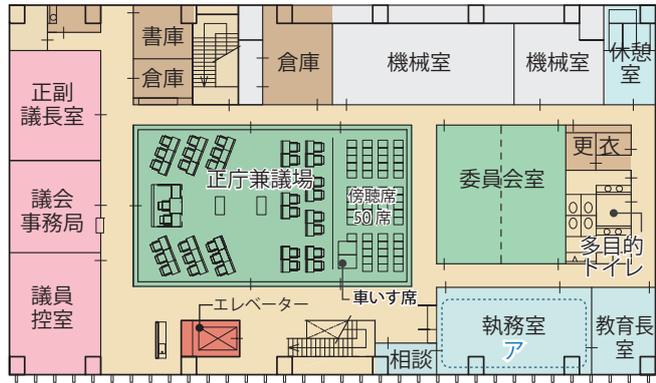


□発電量表示装置の設置イメージ

平面計画

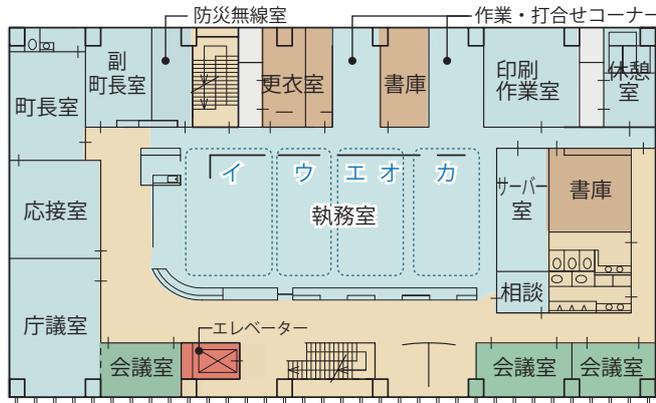
3F 議会部門
教育課 ……………ア

議場は、議会のみでの利用ではなくフレキシブルな利用ができる多機能な空間とします。正庁や会議また壮行会等の式典利用も可能な計画とします。



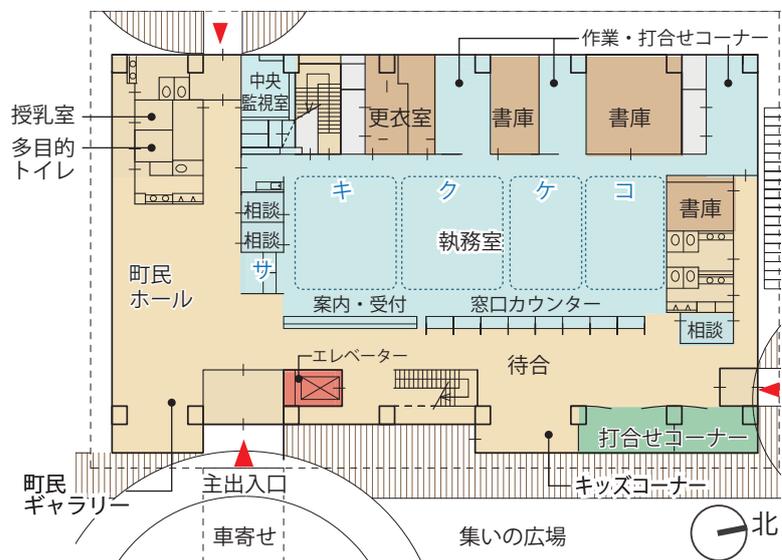
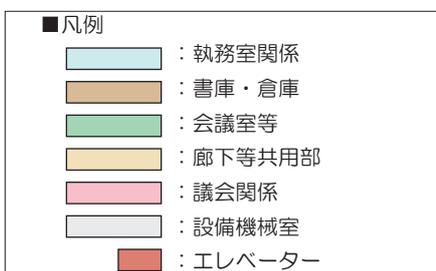
2F 総務課 ……………イ
地域づくり推進課 ……ウ
産業振興課 ……………エ
農業委員会 ……………オ
都市建設課 ……………カ
町長室・副町長室

災害時には庁議室が災害対策本部として機能し、危機管理を行います。



1F 町民生活課 ……………キ
保健福祉課 ……………ク
税務課 ……………ケ
水道事業所 ……………コ
会計室・指定金融機関 ……サ

3方向に出入口を設け、駐車場からのアプローチを容易にします。



みんながつくる!みんながつながるしくみ

◆◆◆地域自治協議会設立に向けて◆◆◆ Vol.1

地域で考えてみませんか!! 地域コミュニティと地域自治組織

地域の現状は・・・

- あなたの地域は元気ですか？
- いざという時支えあえる人がいますか？
- 少子高齢化と人口減少による担い手不足？
- ご近所のお付き合い・地域の結束力の低下？

こんな取り組みがあれば!

地域住民の横のつながり
話し合いの場

地域と行政の連携・協働
の新しい体制

みんなが参加
みんなで支え
みんなで育む

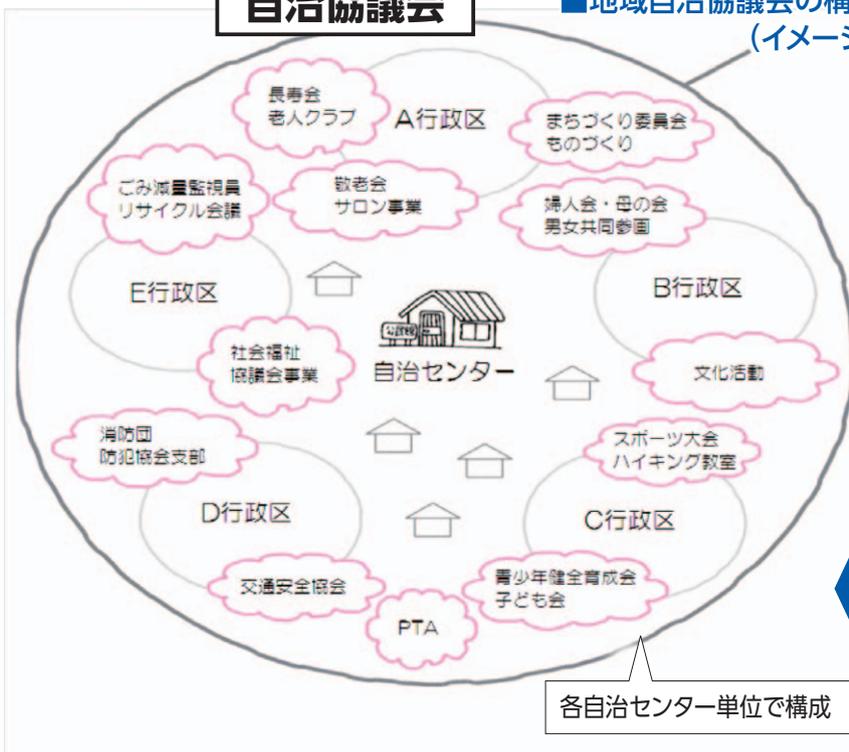
地域自治協議会



自治協議会

■地域自治協議会の構成 (イメージ)

■自治センターを核に!



自治センターを核としたこれまでの活動を、さらに地域に根ざした活動としてくためには、今その地域で暮らしている住民や地域団体の皆さん自身が、必要なことを話し合いながら活動するほうが、より良い地域の課題解決ができると考えています。そのような話し合いをする場が「地域自治協議会」です。

連携
協働

町

各自治センター単位で構成

2014石川町まちづくり交流会

この交流会は、町民と行政による協働のまちづくりを推進するため、「交流の場」「学びの場」「夢を語る機会」として開催します。

●開催日時● 2月9日(日) 午前9時45分～

●会場● 中谷自治センター



町内の取組み事例発表 10:10～

石川地区まちづくり委員会の地域活性化へ向けた取り組みを紹介します。

基調講演 10:40～

「地域コミュニティのシンボル
地域財産の有効活用による地域活性化について」

宮城大学教授 ひらおか よしひろ
平岡 善浩 氏

【プロフィール】

専門は建築設計・コミュニティデザイン。

住環境やまちづくりの課題について研究や実践をすすめており、仙台市郊外住宅地の高齢化問題や南三陸町復興商店街の計画、白石市農業振興核施設の設計などに取り組んでいる。

また、登米町地産木材活用プロジェクトや岩出山酒蔵再生提案などの地域資源を生かしたまちづくり、アートやデザインのイベントの実践によるまちおこしなど、地域の方々と協働し社会貢献活動を積極的に行いながら調査研究を進めている。



まちづくり交流会・情報交換会 12:00～

地産地消や地域間交流による『大鍋大会』

石川地区(至福のなべ)、沢田地区(一夜館なべ)、
山橋地区(宝の里山なべ)、中谷地区(あすかの里元氣なべ)、
母畑地区(いい湯おもてなし鍋)、野木沢地区(式部なべ)
食生活改善推進員会、久之浜・大久地域づくり協議会

地元食材を生かした 『試食会・特産品販売』

※先着順により無くなり次第
終了となります。

街

かど

探検隊



添田恒子さんに 福島県統計協会名誉会長表彰状を伝達

平成25年度福島県統計協会名誉会長表彰状伝達式は11月14日に町長室で行われ、加納町長から添田恒子さん（当町）に表彰状が伝達されました。

添田さんは平成13年から統計調査に従事されているほか、平成17年6月からは石川町統計調査員協議会幹事としても活動されています。



東京いわき石川会が 保育施設に絵本を寄贈

東京いわき石川会の遠藤正男会長と圓谷光雄常任理事が11月13日に第二保育所、野木沢保育所、石川文化幼稚園及び町長室を訪れ、絵本を寄贈しました。

この絵本は同会会員による募金で購入されたもので、絵本を受け取った児童はとてもうれしそうにお礼を述べていました。



石ころ多も参加 ゆるキャラ®さみっとin羽生

ゆるキャラ® さみっとin羽生は11月23日、24日に埼玉県羽生市の羽生水郷公園で開催され、山橋地区まちづくり委員会のキャラクターである石ころ多も参加し、山橋地区・石川町をPRしました。

会場には全国から多くのキャラクターと来場者が集まり、盛大に行われました。



秋の風物詩 八槻市が開催

石川町の秋の風物詩である八槻市は11月23日にクリスタルロードで行われました。

クリスタルロードには病よけの食品として冬にはかかせないユズやショウガのほか日用雑貨やお菓子などを販売する露店が軒を並べ、多くの買い物客で賑わいました。



取材します！

身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



鈴木さん、渡邊さんが受賞を報告 福島県国民健康保険団体連合会会長表彰

11月26日に福島県国民健康保険団体連合会会長表彰を受賞した鈴木晴彦さん（下泉）、渡邊祥一郎さん（鹿ノ坂）が町長に受賞報告をしました。
鈴木さん、渡邊さんはともに平成9年より石川町国民健康保険運営協議会委員として石川町の国民健康保険の向上、発展に貢献されてきました。



大規模災害に備えて 角田市と相互応援に関する協定を締結

姉妹都市である宮城県角田市と大規模災害時における相互応援に関する協定を11月22日に締結しました。
この協定は大規模災害が発生した場合に応急対策及び復旧対策を円滑に行うことで、被害の軽減と住民生活の安定を図ることを目的としているほか、平常時から地域間交流を図り交流を深めていくことも確認されました。



JR磐城石川駅前に 公衆トイレが完成

JR磐城石川駅前に公衆トイレが作られ、12月3日に開設式が行われました。
開設式では、加納町長、大野議長のあいさつの後、関係者などによるテープカットが行われました。
駅構内にあるトイレは老朽化が進んでいることから、新しいトイレが望まれてきました。みんなのトイレですので大切に利用してください。



桑澤康さんが スポーツ功労賞の受賞を報告

11月28日に公益財団法人福島県体育協会からスポーツ功労賞を受賞した桑澤康さん（双里字桜町）が受賞の報告を行いました。
桑澤さんは石川町体育協会会長を務めるなど長年にわたりスポーツ振興に尽力され、特にスケートでは、昭和44年から日本スケート連盟指導員として県内のスケート競技の発展に活躍されてきました。



全国大会出場者を 激励しました

全国大会に出場する選手への激励会を12月10日に町長室で行いました。出場大会と選手は次のとおりです。
●第22回JOCジュニアオリンピックカップ2013ハンドボール大会(12月22日～26日)
吉田春菜さん(石川中学校3年)、長谷川舞さん(石川中学校2年)
●第2回全国選抜中学校テニス大会(11月11日～13日)
根本将広さん(石川義塾中学校2年)



学石陸上部を応援 北塩原村がミネラルウォーターを贈呈

北塩原村の小椋敏一村長、吉川一三商会会長らが12月6日に学校法人石川高等学校を訪れ、全国高等学校駅伝競走大会に出場した同校陸上部を激励しました。また、同村商工会が開発したミネラルウォーター「裏磐梯・百年水」が贈呈されました。
同校陸上部は毎年北塩原村で合宿を行っており、その縁で今回の運びとなりました。

HAPPY SMILE

ハッピー スマイル



渡邊 ^{はやと} 隼くん(3歳)
^{あさひ} 旭くん(1歳)

「元気いっぱい。笑顔いっぱい。
2人そろってもっともっと
大きくなーれ。」
つかさ父ちゃん・るみこ母ちゃんより
双里字谷津前

- 「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん(3歳以下)を募集しています。気軽にお問い合わせください。石川町役場総務課 26-2111
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp



Q & A

青春と真ん中



遠藤 友美さん(20歳) ●立ヶ岡

職業▶(株)DNPテクノパックで製袋機械オペレーターとして働いています。

- Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか
- A 仕事で一人前になることです。
- Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください
- A 結婚してあったかーい家庭を作りたい！(我が家みたいな笑いのたえない家族)
- Q 将来どんな町になって欲しいですか
- A 町内にたくさんの企業がきて若い人たちが残れる町になって欲しいです。
- Q 最後に理想のタイプは
- A 優しくて一緒にいて落ち着ける人です。

▶次回は、遠藤さんの紹介で有松 祐人さんです。

みんなが主役

協働と循環の

まちの実現に向けて

石川町
第5次総合計画

生活の自立や社会参加を促進

第5次総合計画後期基本計画の部門別施策について紹介していきます。

障がい者福祉の充実においては、これまで、石川町障がい福祉計画第2期計画に基づき各種福祉サービスの提供を図ってきたほか、石川地方地域自立支援協議会を設置し、困難事例などの共通認識や専門部会による課題検討などを行いました。また、災害時の要援護支援プラン（個別計画）を作成し、災害時の安否確認などを行いました。

障がい者の状況は、高齢化の進行による重度化・重複化傾向のほか、社会環境の激変による職業生活上の様々なストレス、薬物の氾濫等の原因による精神障がい者が増加しています。更に、地域社会の理解不足、対応の遅れによる不登校・引きこもり・いじめや非行といった二次障がいの問題も発生していることから、これらに対する対応が必要となっています。また、障がい者等の家族においても高齢化・核家族化など家族形態の変化に伴い、家庭の介助・援護が低下するなど、障がい者等を取り巻く環境は大きく変化しており、多様化する福祉ニーズへの対応が課題となっています。

このことから、障がいのある人が家庭や地域の中で安心して暮らすことができるよう、ノーマライゼーションの理念のもと、地域住民や福祉関係者との連携・協働による支援体制の整備とともに、福祉、保健、医療、教育、雇用などの分野にわたる施策を推進します。

更に、平成25年4月に施行された「障がい者総合支援法」により、障がい者が基本的人権を享有する個人としての生活の自立や社会参加を促進していきます。



旅行が思い出です

Q お二人の楽しみは何ですか
A 荘一：ゲートボールが好きで毎週2回楽しんでいます。グラウンドゴルフも好きです。

Q 結婚されて50年、思い出を聞かせてください
A 私たちは昭和38年に結婚しました。米を入れるかます袋を作ったり、プラスチックの成形をしたり、森林組合に勤めたりとさまざまな仕事をしました。思い出に残っていることは旅行です。消防などで団体旅行をしたり、妻は春と秋に農協の旅行に行ったりしました。子どももいて二人そろって出かけることは多くありませんでしたが、今は長寿会の旅行に参加するなど楽しんでいます。

Q 石川町の一番好きなところを教えてください
A 今出川沿いの桜並木が好きです。春になると見に行っています。

Q 町政に望むことは何ですか
A 勤めるところがないと暮らしていくことができなくなってしまうので、企業などを誘致して雇用の場の確保をしてほしいです。



氏名：中野 荘一さん (79歳)
カツさん (80歳)
住所：南山形字中屋敷

故郷の歩みを学ぶ

いしかわの歴史

30 終戦と戦後の改革

昭和20年（1945）になると米軍による空襲は激しさを増し、爆撃は全土に及びました。

石川地方も初めて4月12日に旧制石川中学校が機銃掃射され、上母畑には焼夷弾が落とされました。対策は土蔵などの白壁に墨を塗り、電灯にはカバーをつけて灯火漏れを防ぐこととぐらいいました。旧石川町内では石尊山のサイレンが鳴って、「警戒警報」が発せられると、夜中でも地区の防空壕に逃げ込みました。8月9日米軍機が石川を襲い、中谷第一国民学校（小学校）に併設した青年学校の指導員が撃たれて死亡しました。

この4月から、旧制石川中三年生は「国民徴用令」（前号参照）もとづく学徒動員により、石川山でウラン鉱石採掘に従事しました。これは第八陸軍技術研究所分室（石川中に設置）が行いました。鉱石の選鉱は国策研究機関の理化学研究所（理研）が設立した理研希元素工業扶桑第806工場でした。同工場は現在の町公民館の場所に

あり、民間の日本ジルコン鉱業研究所のものでしたが、軍需省の命令で理研に譲渡しました。ウラン鉱採掘の目的は原爆製造でした。そのためにはウラン鉱石からウラン253を分離し濃縮ウランを製造しなければなりません。それを担当したのが理研仁科芳雄研究室でした。石川には東京で空襲にあった理研飯盛里安研究室が7月に疎開してきました。

しかし、結局日本の原爆製造は日の目を見ず、かえって8月に広島・長崎に原爆が投下され27万人が一瞬に命を失いました。こうして国力を使い果たした日本は、8月15日、米英などの連合国に降伏しました。死者は軍人だけで180万人、石川町の戦死者は631人で家族の悲痛は長く続きました。

8月28日、連合国軍最高司令官ダグラス・マッカーサー元帥が来日し、

総司令部（GHQ）による占領が始まりました。進駐軍は国民が教え込まれた「鬼畜米英」ではなく、暴行や略奪はほとんどおきませんでした。かえってアメリカへの親しみが広がりました。

GHQは日本軍を武装解除し、日本の民主化を推進しました。そのため戦争指導者を逮捕し、軍国主義を鼓舞した政治家・教育者を公職から追放しました。また、GHQは農村の民主化を阻害しているのは地主制度とし、解体に着手しました。

こうした民主化の方針のもとにできたのが21年11月3日公布の「日本国憲法」でした。GHQ主導の憲法でしたが、かつて自由民権運動家が主張した考えが盛り込まれ、もう戦争はこりごりだという国民の平和への願いは第9条に結実し、女性も参政権を得ました。また、日本の指導部が最も恐れていた「国体」―天皇制の改変は回避され、天皇は神から人に、主権者から国民統合の「象徴」になりました。

石川町での希元素採掘と原爆製造研究が詳述されている。2013年8月30日発行、町歴史民俗資料館で発売中。



石川桜めぐり

石川中学校 桜坂
双里字川向地内

- ＊樹種 ツメイヨシン
- ＊樹齢 約30年～50年
- ＊周囲 50cm～200cm
- ＊特記事項

石川町の「桜坂」とも呼ばれる、町内でも有数のお花見スポット。中学校と野球場の間の道路の両端に植えられた桜が一斉に花を咲かせると、まさに、桜のトンネル。春には、元気に活動する中学生たちの声と桜の競演に、元気がもらえるスポットです。

＊見頃 4月中旬

食改さんの^{ちよつと}ひと工夫!

車麩のカツ風

材料(4人分)

車麩	4枚
だしの素	小さじ1
ぬるま湯	200cc
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1
みりん	大さじ1
生姜すりおろし	小さじ1
薄力粉	適量
パン粉	適量
油	適量



●食改さんのひと工夫!

カロリーは控えめですが、満足できる主菜料理です。

車麩はお肉よりもヘルシーで、衣に卵を使用しないので低カロリーです。事前に味付けをしますので、ソース類はかけなくても美味しく食べることができ、減塩にも繋がります。油の量も揚げ物を使用するときの半分の量で済みます。

一緒に、季節の野菜を添えるとバランスのよい食事になります。麩はみそ汁に使われることが多いですが、いつもと違う使い方で美味しい一品が出来上がります。

●作り方

- ①バットなどにAの調味液を作る。
- ②乾いたままの車麩を重ねないように並べて入れ、車麩を数回、裏返して調味液を馴染むまで浸しておく。
(車麩の厚みがある場合は、半分の厚さに切る。)
- ③調味液が染み込んだ②の車麩に薄力粉・パン粉の順で衣をつける。
- ④フライパンに車麩の半分の量の油を熱し、中火で両面がきつね色になるまで揚げ焼きにする。

●栄養士のひとこと

食べ過ぎや脂質(油)の摂り過ぎは肥満の原因になり、肥満は多くの病気の原因となります。

予防や改善には、和食を中心とした食事(魚・野菜類・キノコ類・海藻類)に心がけ、肉料理や油を多く使う料理の食べ過ぎに注意することが大切です。

麩は、小麦粉グルテンでできており、低カロリーで植物性たんぱく質が多く含まれています。コレステロールの低下や血糖値の上昇を抑え、糖の燃焼を促し肥満や糖尿病予防に効果的です。

地域のネットワークで

みんなが安心! 元気!!

みんなの **話・和・輪**

介護保険 石川町のいま①

「念のため申請ってなに?」

介護保険の制度ができて13年経ちました。制度ができたばかりの頃は290人程度だった認定者の数は、平成25年10月末現在949人と急激な増加をみせています。

このため給付費(サービス利用に伴う費用)も増加しています。平成12年に約4億円だった給付費は24年には13億円となっており、皆さんが納めている介護保険料金の設定に大きな影響を及ぼしています。

介護の相談に来られる皆さんの中には「万が一、具合が悪くなった時のために申請しておきたい」という方がいます。また「認定結果が出るまで時間がかかるらしいから」「本人は嫌がっているのだが、家族としては利用させたい」と利用する意向が固まらないうちの「念のため申請者」がいます。

介護認定が決定するには「介護保険の認定申請書の提出」↓「訪問調査の実施」↓「主治医への意見書作成の依頼」↓「認定審査会での審査」↓「介護度の決定」といくつもの手順があります。これらに係る経費も皆さんの介護保険料で賄われているとすれば、申請も含めて正しく上手に介護保険を活用することが、皆さんの負担を増やさない方法でもあるのです。

「念のため申請をしなくても安心な訳」

●介護保険サービスは申請日から利用できます。申請書が提出され緊急性が高ければ調査を早急に実施しています。

●調査結果をコンピューター判定します。この結果をもとに先にサービスを利用することができます。(正式な認定結果が決定するまでは約1か月かかります)

●どんな時に介護保険が利用できるのか、いつ申請すればいいのか、先ずは相談してみることをお勧めします。

●相談・連絡先

保健福祉課 高齢福祉係 ☎26-9124
地域包括支援センター ☎26-4606

◆地域福祉ネットワーク標語

「地域みんなて、気にかかけあい・見守りあい・声かけあって、誰もが安心して暮らせる地域づくりを」



募集

（財）福島県文化振興基金助成事業の申請受け付けについて

県民の皆さんの文化活動を支援する（財）福島県文化振興財団では、現在、平成26年度第1期分の助成申請を受け付けています。

●対象事業

1. 平成26年4月1日から平成26年7月31日までに行う次の事業
①広く県民に公開する文化活動の成果発表【美術展、音楽会、演劇等の公演、文芸誌出版、映画、生活文化（茶の湯、生花、陶芸、フラワーデザイン等）】

※生活文化の分野については、その行事が広域市町村圏段階レベルの組織によって行われる場合のみ助成対象となります。

- ②県の代表や公的機関からの招へいにより国内外の発表会等へ参加する事業
- ③文化財の保護・保存のための事業

業 ない

2. 平成26年4月1日から平成26年7月31日までに行う次の事業
①東日本大震災又は原子力災害で被災した県民及び文化団体が参加する芸術文化及び伝統芸能に関する事業
- ②東日本大震災又は原子力災害で被災した県民及び文化団体が伝統文化の保存・継承のために行うソフト事業
- ③東日本大震災又は原子力災害で被災した県民及び文化団体が所有する伝統芸能の用具等の新調・修理事業

業 ない

3. 平成26年4月1日から平成27年3月31日までに行う次の事業
①文化振興による地域活性化に関する事業
- ②伝統文化の保存・継承・発展を目的としたソフト事業
- ③国際的な文化団体海外公演等支援事業

4. 平成26年4月1日から平成27年3月31日までに行う次の事業
歴史的施設、文化的価値のある建造物等の保全・改修事業及び地域で古くから親しまれてきた文化施設等の保全・改修事業（東日本大震災による損傷の改修を含む）
ただし、国登録有形文化財、国の近代化産業遺産等に限る

●対象者

県内に住所または活動の本拠を有する個人（県外在住の県出身者も含む）または文化団体等（商工会、商工会議所、JC等を含む）

●助成金額

助成対象経費の1/3または1/2または4/5以内の額。ただし対象事業の区分により、限度額があります。

●申込方法

所定の申請書に記入の上、必要書類を添付し、石川町公民館の窓口へ提出してください。

●申込期限

平成26年2月28日（金）

●お問い合わせ先

石川町教育委員会
教育課 生涯学習係
☎26-12566



110番通報の適切な利用をお願いします

毎年、1月10日は110番の日です。110番は警察本部通信指令室につながる事件・事故専用の緊急電話です。焦らず、ゆっくりお話しください。

- お尋ねする内容
- 何がありましたか
- いつのことですか
- 場所はどこですか

- ・犯人は誰ですか
- ・犯人の逃走方向はどちらですか
- ・状況（けが・現場など）はどうですか
- ・あなたは誰ですか

※住所などを説明できないときは、公共機関、金融機関、医療機関、駅、バス停など目標となるものがあるか確認するほか、近くの民家に住所を聞いて教えてもらうのも良い方法です。

●携帯電話から110番するとき

現場を離れずに通報をしてください

●必ず停止して通報をしてください

・しばらくの間は電源を切らないでください

●税務職員を装った者からの不審な電話にご注意ください

国税局や税務署の職員を名乗る者から電話があり、アンケートや年金受給調査と称して、年齢や家族構成、年金の受給状況、預金残高、口座情報などについて聞き出すとすると事例が発生しています。不審な電話があった場合には、即答を避け、①相手の所属部署、②氏名、③電話番号を確認したうえで一旦電話を切り、最寄りの税務署にお問い合わせください。

●お問い合わせ先

須賀川税務署 総務課
☎0248-17512194
（音声案内に従って「2」番を選択してください）

除雪に対するご理解とご協力をお願いします

町では、一定基準を超えた積雪時に主要幹線道路の除雪を実施しています。

重機を使用している作業となり、ご迷惑をおかけしないよう注意を払って作業していますが、住居前や進入路等に雪が残ってしまった場合には、それぞれに除雪していただくようお願いいたします。

除雪作業は、町業者が国道、県道、町道の順番で行うことから町道の除雪が遅くなる場合がありますのでご理解をお願いします。

●お問い合わせ先

都市建設課 維持係
☎26-19133





案内



「AED講習会」開催のお知らせ

石川町赤十字奉仕団では、事故や災害現場、あるいは街中などで人が突然倒れてしまった時、一人でも多くの人命を救助するため、救助法の講習会などを実施しています。

AED（自動体外除細動器）は、心停止した傷病者にショックを与え、救命率を高めるもので、使用にあたっては正しい操作方法を身につけ、緊急時に迅速かつ的確に対応することが求められています。次によりAED講習会を開催します。緊急時に備え操作方法を身につけてください。

●日時 2月25日(火)
午後1時30分～3時30分

●場所 石川町総合体育館
ミーティングルーム

●その他 参加費は無料ですが、1月31日(金)までに保健福祉課（☎26-19123）まで申し込みください。また、参加する際は動きやすい服装でご来場ください。



県民健康管理調査基本調査問診票「簡易版」ができました

福島県からのお知らせです。福島県と県立医科大学では、震災後4か月間の外部被ばく線量を推計する基本調査について、この度、より記入・回答しやすい問診票の「簡易版」を作成しました。

この「簡易版」は避難などの移動回数の少ない方がご利用いただけます。

『簡易版』で回答できるかどうかをお調べしますので、基本調査問診票の回答がお済みでない方はお問い合わせください。

なお、この『簡易版』は、石川町保健センターに準備していますので、お気軽にお申し出ください。基本調査の結果は、お一人お一人にお知らせしますので、皆さんの将来の健康管理のために、ぜひご提出ください。

●お問い合わせ先
福島県立医科大学 放射線医学
県民健康管理センター

☎024-1549151・30
(土・日・祝日を除く9時～17時)



水道管の凍結にご注意を！—水道管の冬支度はお済みですか？—

1年間で最も寒さが厳しい時期を迎えました。この季節は水道管が凍ったり、破裂したりして大変お困りになる家庭も多いことと思います。お早めに水道管の冬支度をしてください。

●破裂の多い水道管は

戸外で日当たりが悪く、露出、又は風当たりが強い場所にある水道管

●冬支度として

- ①水道管に布や毛布を巻きつけて保温し、その上にビニールテープを巻いて寒気が入らないようにします。
- ②市販されている保温材もあります。(指定工事店や雑貨店で販売しています。)

●水道管が凍った時は

自然にとけるのを待つか、凍った部分にタオルをあてて、ゆっくりとぬるま湯をかけてください。急に熱いお湯をかけると、凍った部分が破裂することがありますので注意してください。

●水道管が破裂してしまった時は

まず甲止栓を止めてください。甲止栓の場所がわからないときは、破裂したところを布、テープなどで応急手当てをして指定工事店に修理をお願いしてください。

甲止栓は、メーターの先にあり、手で止めるものです。一度確認してください。

●お問い合わせ先

石川町水道事業所 ☎26-1502

◎平成25年度年末年始の水道修繕工事等の当番業者

期 日	当番業者	電話番号
平成25年12月31日(火)	三栄工業	26-3356
平成26年 1月 1日(水)	(有)中野工業	26-1702
2日(木)	水戸設備	26-0196
3日(金)	(有)溝井設備	26-1079
4日(土)	(有)大竹工務店	26-0738
5日(日)	(有)吉田設備工業	26-1331



自発的活動支援事業を補助します

障がいをお持ちの方やその家族、及び地域住民の方が自発的に行う取り組みに対し、補助金を交付します。

●目的

障がいをお持ちの方が日常生活または社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去するために、地域における自発的な取り組みを支援することにより、共生社会の実現を図ることを目的とします。

●対象

障がいをお持ちの方やその家族による団体及び地域住民団体など
※政治的・宗教的な普及活動、営利を目的とするもの、既に助成金等を受けているものは対象外です。

●補助対象活動

- 障がい者やその家族が互いの悩みを共有することや情報交換のできる交流活動
- 権利や自立のための社会に働きかける活動
- その他自発的な活動等

●補助対象経費

報償費（講師謝礼等）、旅費（講師の旅費等）、消耗品費（事務用消耗品費等）、印刷製本費（資料印刷代等）、通信運搬費（郵便料等）、使用料及び賃借料（会場・機材借上料等）、その他の経費（先

述のものほか町長が特に必要と認める経費）

●補助金交付額

1事業あたりの合計額が、30,000円を超えない範囲

●申請方法

石川町役場保健福祉課社会福祉係へ石川町自発的活動支援事業補助金交付申請書に記入の上、申請してください。

なお、事業終了後は町の様式で実績報告等が必要になります。申請書等は石川町ホームページからもダウンロードできます。

●お問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉係
☎26-19123

ホールボディカウンター車による内部被ばく検査のお知らせ

平成21年4月2日から平成24年4月1日生まれの方を対象に保健センターにおいて内部被ばく検査を実施します。対象のお子さんに、通知が届いていると思いますので、希望される方は事前に同意書を提出のうえ、指定日に検査を受けましょう。

●検査日

1月7日(火)、8日(水)、9日(木)、10日(金)、11日(土)、14日(火)、15日(水)

●お問い合わせ先

保健センター
☎26-18416

事業所、企業等に防災行政ラジオを貸与します

町では防災行政無線の難聴地域を解消するため、希望があった世帯に室内で無線内容を聞くことができる防災行政ラジオを貸与していますが、事業所や企業等への貸与も行います（※家屋と事業所等が一つの建物にある場合や同一敷地にある場合は対象外です）。貸与を希望する方は、お申し込みください。

また、各世帯への貸与も引き続き行っていますので、申請していない世帯で貸与を希望する方はお申し込みください。

●お申し込み・お問い合わせ先

総務課総務係
☎26-12111



『司法書士総合相談』のお知らせ

白河司法書士総合相談センターでは、白河市及び須賀川市において、無料相談を行います。

※西地区において相談日時が異なりますので、ご注意の上お越しください。また、事前に予約をお願いいたします。緊急を要するものについては最寄りの相談員を紹介しま

す。秘密は厳守します。

●相談内容

不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見等に関する法律相談など

●開催日時及び場所

◎マイタウン白河2階（白河市本町2番地）
1月16日(木)、2月20日(木)、3月20日(木)

(時間) 午後5時から午後8時

◎須賀川市中央公民館2階
○A研修室（須賀川市八幡町134番地）
2月6日(木)、3月6日(木)

(時間) 午後1時から午後4時

●予約・お問い合わせ先

(祝日を除く月曜日から金曜日)
午前10時から午後0時半
午後1時半から4時

白河司法書士総合相談センター
☎0248-123-11785

郡山年金事務所による予約制の出張相談会を開催します

老齢年金及び受給者死亡に関する相談です。また、厚生年金のある方は原則、市町村の窓口で手続きができないため、出張相談をご利用ください。

ご利用の際は事前に予約をお願いします。

●開催日 1月23日(木)

●出張相談会場

石川町総合体育館ミーティングルーム

●相談時間

午前10時から午後3時まで

●予約受付

郡山年金事務所
☎024-193213434
※予約電話は午前8時30分〜午後5時15分までです。

●お問い合わせ先

町民生活課 国保年金係
☎26-19121

定例行政相談

行政相談委員による定例相談を次により行います。

●日時 1月25日(土)

午前9時〜正午
場所 石川町公民館

心配ごと相談

●日時

1月10日(金)
午前10時〜午後3時

1月24日(金)（弁護士相談会）
午後1時〜午後3時 ※要予約

●場所

老人福祉センター
お申し込み・お問い合わせ先

石川町社会福祉協議会
☎26-13793



「子育て講演会」の開催について

近年、インターネットや携帯電話の普及によりプライバシーが隔離され、子どもを把握するのが難しくなっています。また、家族間のコミュニケーション不足が子どものSOSに気づかず、トラブルに巻き込まれるケースも増えています。

この機会に家庭教育について一緒に考えてみませんか。
どなたでも参加できますので、多くの方の参加をお待ちしております。

- 日 時 平成26年2月8日（土）
午前10時～午前11時45分
- 場 所 石川町共同福祉施設ホール
- 参加費 無料
- 演 題 「現代の子どもに対しての家庭教育」
- 講 師 塩 正守氏
(学校支援ボランティアの会・
ダイヤルこだま・いわき顧問)
- お問い合わせ先 石川町公民館 ☎26-2566



図書紹介

新しい年を迎え、「今年こそは読書を！」と考えているあなたに、公民館図書室では、小説、エッセイ、詩集などたくさんの本を揃えて、皆様のお越しをお待ちしています。寒い冬こそ、こたつに入って読書を楽しんでみませんか？



最近話題の本、おすすめの本を紹介します。

図 書 名	著 者	出版社	内 容
はなとゆめ	冲方 丁	角川書店	美しくも心ふるわず清少納言の生涯を描いた小説
想像ラジオ	いとうせいこう	河出書房新社	東日本大震災で亡くなった人々の声を集めた小説
それでも私は山に登る	田部井淳子	文藝春秋	余命3ヶ月?!自らに降りかかった最大の危機をどう乗り越えていったかを綴る
去年の冬、きみと別れ	中村 文則	幻冬舎	連続美女殺しを核にしたミステリー小説
恋しくて	村上 春樹	中央公論新社	村上春樹が選んで訳した9編のラブストーリー
海賊とよばれた男	百田 尚樹	講談社	昨年、本屋大賞に選ばれた本！出光創業の出光佐三氏をモデルにした小説

新刊の他に昨年亡くなられた、山崎豊子著『大地の子』、『沈まぬ太陽』や映画化された、妹尾河童著『少年H』なども多くの方に読まれています。

お申し込み・お問い合わせ先…石川町公民館 ☎26-2566 FAX 26-4992



国保だより

退職者医療制度とは？

会社等の健康保険に一定期間以上加入されていた方が入る国民健康保険です。

退職者医療制度は、本人の自己負担と保険税のほか現役時代の健康保険組合などからの拠出金が財源となっています。

国保から支払う医療費の増加や、それに伴う国保の保険税の値上げを防ぐため、該当する方は退職者医療制度への切り替えをお願いします。

退職被保険者、被扶養者になっても保険税の変更はありません。

次の条件の全てにあてはまる方が退職被保険者(本人)となります。

- 65歳未満で国民健康保険に加入している。
- 厚生年金・共済年金などの被用者年金の加入期間が20年以上(または40歳以降に10年以上)あって、老齢厚生年金、老齢(退職)年金などの受給権がある。

厚生年金・共済年金などへの加入	
20年以上	40歳以降に10年以上

次の条件の全てにあてはまる方が退職被保険者の被扶養者となります。

- 65歳未満で国民健康保険に加入している。
- 退職被保険者(本人)の直系尊属、配偶者と3親等内の親族である。
- 退職被保険者(本人)と住民票上、同一世帯になっている。
- 退職被保険者(本人)によって生計を維持し、年間収入が130万円未満(60歳以上の方、身障者の方は180万円未満)である。

- 対象になる日
年金の受給権が発生した日です。年金証書を受けとったら14日以内に保険証、印鑑、年金証書を持参のうえ国保年金係窓口にて届け出をお願い致します。



◆お問い合わせ先 町民生活課 国保年金係 ☎ 26-9125

脳卒中とその予防

脳卒中は大きく分けると、脳梗塞と脳出血、くも膜下出血に分かれます。脳梗塞は脳血栓(脳の血管の中にカスが溜まる)と脳塞栓(不整脈や心臓弁膜症がある)に分かれます。その大きな原因として糖尿病や喫煙があります。血糖値が高かったり、ニコチンなどで血管が傷めつけられ、さらに食べ物の摂りすぎから、処理しきれなくなったコレステロールが血管の内側に溜まり、血管内膜の細胞が傷つけられます。また、不整脈や心房細動があると、脳血管がきれいでも心臓からの血栓が脳血管をつまらせます。症状としては、手足の麻痺やしびれ、呂律が回らない、言葉がでない、回転性のめまい、物が二重に見える、視野が狭くなるなどがあります。脳梗塞は血流再開が早ければ早いほどよく、発症から3時間以内に治療に結びつくことが重要です。

脳出血の症状は脳梗塞とほぼ同じですが、普段から血圧が高く、また、脳圧が上がるため吐き気

や嘔吐を伴います。高血圧は普段から血管の拡張と収縮を大きくして血管が傷められている状態なので細い血管が破れることがあります。くも膜下出血はバットで殴られたような突然の激しい頭痛が起こります。外科的に再出血の予防をすることが大切です。

心臓病はもちろんですが、脳卒中も太りすぎ、運動不足、塩分や嗜好品の摂りすぎなど心当たりのある方は、症状のない今から要注意です。

繰り返しますが、自覚症状がないのがこの病気の怖いところです。

健診結果をもう一度見直し、1つでもできることから実践しましょう。



●お問い合わせ先 保健センター ☎ 26-8416

自殺対策予防標語
「家族愛・地域の愛で自死防止」

TOWN EVENT CALENDAR

石川町 1～2月の主な予定

今月の納期

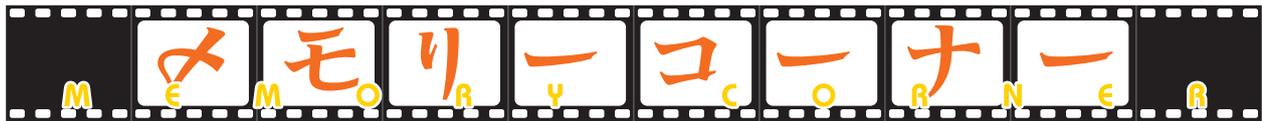
- 1月27日(月)までに納めましょう
固定資産税 (第4期)
国民健康保険税 (第7期)
- 1月31日(金)までに納めましょう
後期高齢者医療保険料 (第6期)

1月 ● January

15 水		
16 木		
17 金	子ども遊び教室 (9:30～)	中谷自治センター
18 土		
19 日	在宅当番医	ひらた中央病院 (平田村)
20 月		
21 火		
22 水	1歳児教室 (9:30～)	保健センター
23 木	3歳3か月児健診 (13:00～)	保健センター
24 金		
25 土		
26 日	在宅当番医	浅川南診療所 (浅川町)
27 月		
28 火		
29 水		
30 木	1歳6か月児健診 (13:00～)	保健センター
31 金	子ども遊び教室 (9:30～)	中谷自治センター

2月 ● February

1 土		
2 日	在宅当番医	ひらた中央病院 (平田村)
3 月		
4 火		
5 水		
6 木		
7 金	子ども遊び教室 (9:30～)	中谷自治センター
8 土		
9 日	まちづくり交流会 在宅当番医	中谷自治センター ひらた中央病院 (平田村)
10 月	町県民税申告相談会 (3/17まで) (土・日・祝日を除く)	石川町共同 福祉施設
11 火	在宅当番医	やまもと内科
12 水	2歳児教室 (9:30～)	保健センター
13 木	3～4か月児健診 (13:00～)	保健センター
14 金		



(平成25年11月1日～11月30日までの届出分で掲載希望のあった方 敬称略)

Hello baby



氏名	保護者	住所
添田 碧依 (翔一郎・優香)	塩 沢	
星 玲希 (和樹・恵美)	長久保	
渡邊 葵 (智行・明美)	母畑	
吉田 羽華 (哲平・沙也香)	下泉	
根本 百菜 (孝司・恭子)	沢井	
小木 凜加 (義成・愛)	板橋	

Couple



新郎	新婦 (住所)
遠藤 善弘 (白河市)	江尻 寿子 (赤羽)
薄井 政樹 (板橋)	内桶よし美 (いわき市)
野地 元樹 (双里)	緑川 百合 (双里)
小林 裕樹 (湯郷渡)	吉田 愛美 (田村市)
小原 直也 (轡取)	瀧口 恵美 (轡取)



Condolence



氏名	住所
鈴木 テル	(北山)
関山 幸蔵	(曲木)
酒井 清吉	(谷沢)
阿部 ナミ	(双里)
飯島 榮一	(長久保)
水野 キミノ	(板橋)
添田 ケイ	(南山形)
須藤 孝一	(板橋)
添田 年亥	(塩沢)
関根 光	(塩沢)
水野 精治	(双里)



小さな美術館

第321回

沢田小学校

【施設紹介】

沢田小学校は、「明るい子ども」「考える子ども」「きたえぬく子ども」を教育目標に掲げ、103名の子どもたちが学習や運動に元気いっぱい取り組んでいます。今年度、創立140周年を迎え、運動会や沢田フェスティバルなどの行事では、地域の方々にも参加いただき例年以上に盛り上がりました。また、子どもたちは、地域の方々に見守られ、沢田児童館・沢田中学校との連携を深めながら今日も楽しく学校生活を送っています。

「せかい」の
「ハートがたかたつむり」



さがわ みさき
佐川 美咲さん(1年)

ハートがたくさんあったらすてきなかたつむりになるなと思ってせかいいちのかたつむりにしようと考えてかきました。



「カブトムシたちと
いっしょにくらせるせかい」



ごう かな
郷 柑奈さん(2年)

カブトムシたちが元気にくらししてほしいと思ってかきました。



さがわ あかね
佐川 朱音さん(5年)

初めてのバケツ稲作りをしました。みんなで稲かりをした様子をかきました。



「初めての稲かり」



おの さやか
小野 紗也香さん(6年)

私は、2年間、放送委員でした。たくさん練習したり楽しい思い出があったりした放送室をかきました。



「校内に笑顔
届けた放送室」

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も広報いしかわをよろしく申し上げます。新年を迎えるという一つの区切りがあることで気持ちを新たにすることができます。昨年は締め切りに追われやり残したことやできなかったことなどありますが、今年は頑張っていこうと思います。まずは余裕を持って計画的に仕事を進めることから始め、年末には充実した年だったと思えるような1年にしていきたいです。(佐久間)

町民憲章

- 1.自然と文化を愛し 豊かな町をつくりましょう
- 1.親切と勤労をむねとし 住みよい町をつくりましょう
- 1.歴史と未来をみつめ 誇りある町をつくりましょう

みんなで防犯 子ども防犯呼びかけ隊

●今月の隊長(広報無線の声)

野木沢小学校 6年 円谷 凜さん



- Q. 毎日の通学などで気をつけていることは？
- A. 歩道から出ず、二列以上にならないように、日頃から気をつけています。
- Q. 将来の夢を聞かせてください。
- A. 地元の石川町にカフェを開いて、みんながゆっくりと過ごせるかわいカフェにしたいです。

表紙の写真

第二保育所に通う橋本 一輝(いつき)くん、力輝(りき)くん、祖父の藤雄さん、祖母のエチ子さんです。



町の人口

●12月1日現在住民基本台帳● () 内前月比

	16,879人	(6)
男	8,222人	(1)
女	8,657人	(5)
世帯数	5,770戸	(15)